

今後の進め方について

1. 官公需施策に係る PDCA サイクルについて

- 官公需施策については、毎年度、基本方針を閣議決定し、中小企業者に対する発注目標額等を定めているところ。
- また、基本方針の中では、量的な目標の達成と併せて、中小企業者が受注しやすい工夫を施すなど、質的な向上についても取り組みが求められている。
- これらを進めていくためには、中小企業者の受注状況等を始めとする取引実態を把握し、課題等がある場合にはこれを解決するための取組を基本方針に盛り込んだ形で閣議決定し、各府省庁や地方自治体がこれを実行し、その実績を取りまとめ・公表し、取組が遅れている場合にはその理由を明らかにし、その改善を促していくという官公需施策に係る PDCA サイクルを確立していくことが重要。

2. 次回の副大臣会議の開催について（案）

- （１）官公需における受注者側（中小企業者等）に対する実態調査結果や業界の生声などの把握・共有

※ 官公需の受注事業者の事業を所管する各府省におかれては、所管業界における官公需の課題について業界団体等を通じ実態を把握し、次期基本方針に盛り込むべき事項等について中小企業庁に共有して頂きたい。本件については別途事務方からスケジュールを含め依頼予定。

- （２）令和３年度の基本方針素案の提示